

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 発電所の状況について（2021年10月1日現在）

1 号 機 沸騰水型	廃止措置中（2017年4月19日～） ・第4回定期事業者検査中（2021年4月1日～11月下旬予定） ・タービン補機冷却系熱交換器他解体工事中（2021年2月22日～）
2 号 機 加圧水型 (116万kW)	第18回定期検査中（2011年8月29日～未定）

（ ）内は定格電気出力

<新規規制基準への適合性審査に係る申請状況>

	申 請	申請日	補正日	許認可日
2 号 機	原子炉設置変更許可	2015.11.5	—	—
	工事計画認可	—	—	—
	保安規定変更認可	2015.11.5	—	—

2. 故障等の状況について（2021年9月3日～10月1日）

（1）法律に基づく報告事象

なし

（2）安全協定に基づく異常時報告事象

なし

（3）保全品質情報等

- ①敦賀発電所2号機 Aディーゼル発電機シリンダ注油器（No. 16）動作不良について
 第18回定期検査中の敦賀発電所2号機において、9月2日16時22分頃、運転員がAディーゼル発電機の機関予備潤滑運転（頻度：1回／2週間）の準備作業として、シリンダ注油器（以下、「当該注油器」という。）を操作し、シリンダ（全18気筒）への注油を終えた際、インジケータの鋼球が下限位置にあるところ、No. 16シリンダのみ中間位置に留まっており、注油が継続している可能性があることを確認しました。

このため、機関予備潤滑運転の準備作業を中断し、当該注油器に潤滑油を供給する

弁を閉止した結果、鋼球はインジェクタ内の下限位置まで下降しました。

本事象による周辺環境への影響はありません。

今後、当該注油器を点検のため取り外し、予備品と交換します。

(2021年9月3日お知らせ済み)

原因調査のため、取り外した当該注油器を点検した結果、インジェクタ部にある潤滑油逆止弁のシート面に微細な傷が発生していることを確認しました。これにより逆止弁が閉位置でもシート部に僅かな隙間が生じるため、注油が継続したと推定しました。

逆止弁の微細な傷は、運転開始以降、長期間使用していたことにより生じたものと考えられることから、対策として、次のディーゼル発電機点検時に長期間使用している全てのインジェクタ部について、交換を実施します。また、今後は定期的に交換を実施していきます。

(別紙参照)

3. 敦賀発電所3, 4号機 準備工事について(2021年10月1日現在)

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理、及びコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。

4. その他

(1) 当社協力会社社員の新型コロナウイルス感染について

9月23日に、敦賀発電所に勤務する当社協力会社社員1名が新型コロナウイルスに感染していることを確認しました。当社では、これまで新型コロナウイルスの感染予防・拡大防止対策を実施しており、発電所の運営に影響はありません。

(9月24日お知らせ済み)

(2) げんでんふれあいギャラリー催し物のご案内について

【開館時間：10時～16時30分】

＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております＞

①能面への誘い 新作能面個展 ^{だいどう たけひさ} 大同 長久

趣味で長年能面打ちをされている、^{だいどう たけひさ} 大同 長久 様による作品展です。郷里若狭能倉座の古面等を参考に制作された新作を中心に、能面作品を27点展示中です。

(9月28日～10月3日)

②動物たちにぬくもりを！動物あいごパネル展

動物たちとの共生を推進する会(代表：^{ふじた ゆきお} 藤田 幸雄 様)によるパネル展です。日本の動物愛護の現状と課題(アニマルセラピー等の動物福祉社会の実現、気候変動に伴う生物の生命危機意識高揚等)についてのパネルを約200点展示予定です。

(10月5日～10月10日)

③みやび会 書道展 仏画展 感謝(コロナの中で生かされていますことに)

みやび会(代表：^{かわせ がえん} 川瀬 雅園 様)の16名の皆様による作品展です。会員の方々の、のびのびとした習字、仏画等を20点展示予定です。

(10月19日～10月24日)

④第15回八洲学童書展

八洲書道教室（代表：幸光 八洲 様）の小学生から高校生までの児童生徒の皆様による作品展です。硬筆と毛筆で書かれた作品を80点展示予定です。後援：敦賀市教育委員会

（10月26日～10月31日）

⑤創作切り絵展～つながり～

松原公民館切り絵の会（代表：霜田 悟 様）の7名の切り絵作品と、霜田 愛華 様による絵画作品展です。今回は山中 きぬ子 様の切り絵作品をメインに、25点展示予定です。

（11月2日～11月7日）

⑥「季語と出会おう」「季語とあそぼう」俳句はたとせ展

講師：石田 野武男 先生の句会の同期入門から20年目を迎える、倉谷 紫龍 様、倉谷 ます美 様、鶴田 勝子 様の作品を50点展示予定です。

（11月9日～11月14日）

新型コロナウイルスの感染状況により、展示が中止になることもありますので、ご了承ください。最新の情報は、弊社ホームページをご覧ください。

(<http://www.japc.co.jp/tsuruga/fureai/event/fureai.html>)

以 上

敦賀発電所 2 号機 A ディーゼル発電機 シリンダ注油器 (No. 16) 動作不良について

第 18 回定期検査中の敦賀発電所 2 号機において、9 月 2 日 16 時 22 分頃、運転員が A ディーゼル発電機の機関予備潤滑運転※¹（頻度：1 回／2 週間）の準備作業として、シリンダ注油器※²（以下、「当該注油器」という。）を操作し、シリンダ（全 18 気筒）への注油を終えた際、インジェクタの鋼球が下限位置にあるところ、No. 16 シリンダのみ中間位置に留まっており、注油が継続している可能性があることを確認しました。

このため、機関予備潤滑運転の準備作業を中断し、当該注油器に潤滑油を供給する弁を閉止した結果、鋼球はインジェクタ内の下限位置まで下降しました。

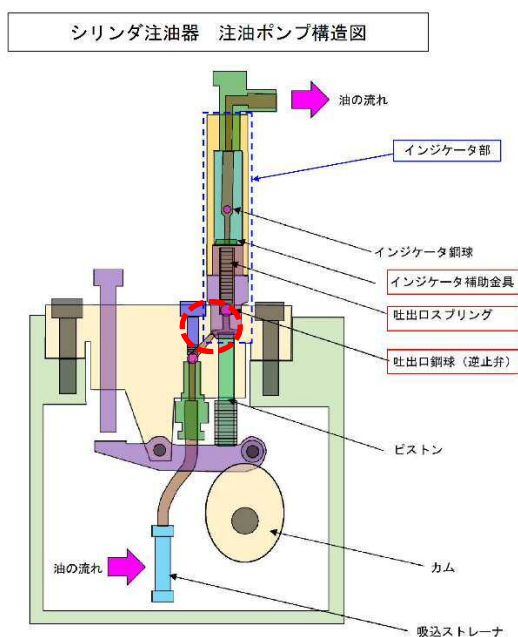
本事象による周辺環境への影響はありません。

今後、当該注油器を点検のため取り外し、予備品と交換します。

（2021 年 9 月 3 日お知らせ済み）

原因調査のため、取り外した当該注油器を点検した結果、インジェクタ部にある潤滑油逆止弁のシート面に微細な傷が発生していることを確認しました。これにより逆止弁が閉位置でもシート部に僅かな隙間が生じるため、注油が継続したと推定しました。

逆止弁の微細な傷は、運転開始以降、長期間使用していたことにより生じたものと考えられることから、対策として、次回のディーゼル発電機点検時に長期間使用している全てのインジェクタ部について、交換を実施します。また、今後は定期的に交換を実施していきます。



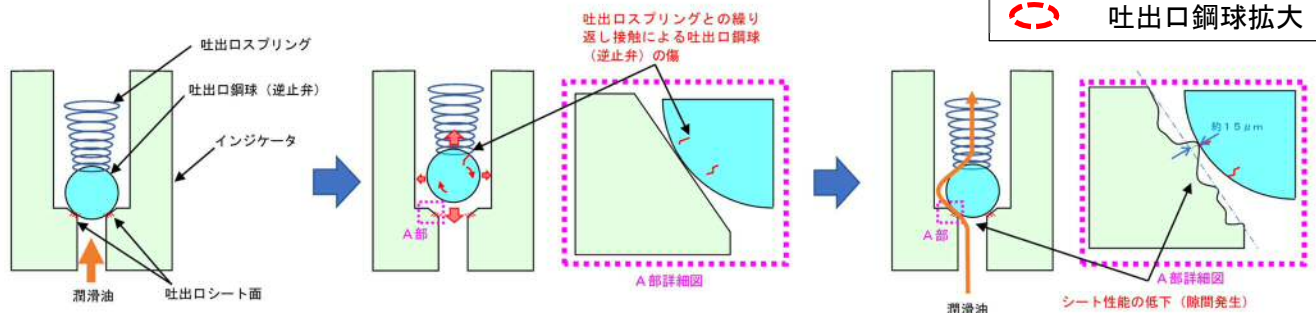
※ 1 機関予備潤滑運転

ディーゼル発電機の機関各部に潤滑油を供給し、油膜を行き渡らせる操作。

※ 2 シリンダ注油器

シリンダ油サービスタンクのシリンダ油（潤滑油）をピストン摺動面に供給するための装置。1 ピストンあたり 4 カ所から行われている。インジェクタは内部の鋼球の上下動によりシリンダ油の注油状態を確認するもの。ディーゼル機関が停止中はシリンダ油が供給されず、鋼球はインジェクタ下限位置にあり、機関運転中や機関予備潤滑運転中はシリンダ油の流れを受け、インジェクタ下限位置から上昇する。

インジェクタ鋼球が中間位置となった事象のメカニズム



①正常状態

吐出口鋼球（逆止弁）と吐出口シート面により、潤滑油をシートしている。

②吐出口鋼球（逆止弁）の傷

長期間による吐出口スプリングとの繰り返し接触により、吐出口鋼球（逆止弁）表面に傷が発生する。

③シートパスの発生

傷のある吐出口鋼球（逆止弁）との繰り返し接触により、吐出口シート面に傷が発生する。
吐出口シート面の傷頂部を支点に吐出口鋼球（逆止弁）が着座することにより、吐出口鋼球（逆止弁）と吐出口シート面に隙間が発生し、シートパスが発生する。